

# 戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (13)

— 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (VI) —

尾 高 進  
丸 山 剛 史

Journal Published by Textbook Publisher  
under Educational Reform after World War II (13)

ODAKA Susumu, MARUYAMA Tsuyoshi

第7巻第6号(1955年6月)の「編集後記」には、実教出版の教科書を使用した授業の実践報告寄稿の要望、寄稿の内容は「高校生の実態調査に関するもの」が「めっきりふえて」きたことが記されている<sup>1</sup>。しかし、教育実践記録に関する寄稿がないため、第7巻第10号(1955年10月)の「編集後記」では、次のように記し、寄稿を要望している<sup>2</sup>。

「▼小社の教科書による実践記録の御投稿を誌上でしばしばお願いしているがまだどちらからも御寄稿がない▼実践記録となると随筆や単なる論説とちがって紙の上で原稿用紙を広げてすぐ書けるというわけではないので、これは当然の現象と思っている▼しかし類似の雑誌には小学校中学校の先生方の実践記録がさかんになっている▼小学校中学校に比べて高等学校の先生方にその方面の興味がないわけではけっしてあるまい▼おそらくこれは小学校中学校の学習指導と高等学校の学習指導のやり方が大いにちがっているからであろう▼どうちがうか、しろうとの編集子にはハッキリしたことはわからないが、ちごうならちごうで、そのちがいのよく現われた実践報告がほしいと切望に耐えない次第である。」

このように、1955年当時、実教出版以外の教科書会社の雑誌では教育実践記録が掲載されていたと記されているけれども、『高校教育』誌は、教育実践記録の掲載を切望しながらも原稿が集まらず、困惑していた。

<sup>1</sup> 「編集後記」『高校教育』第7巻第6号、1955年、32ページ。

<sup>2</sup> 「編集後記」『高校教育』第7巻第10号、1955年、32ページ。

こうした状況は、その後も変化しなかったとみられる。1957年12月に発行された第9巻第12号の「編集後記」には同年に寄稿された記事と掲載した記事との数が記されているけれども、教育実践記録は1編であり、少ないことが記されている<sup>3</sup>。

「…▼十二月十日までに先生方からいただいた玉稿は二六八編で昨年の数を上まわりました▼掲載しました数は（依頼原稿をのぞいて）一〇八編、そのうちわけは教育的評論二四編・研究発表八編・実践報告一編・随筆欄（四段組）に掲載のもの六三編・コント二編・高校評判記二編・書評一編・その他十編です▼随筆欄に掲載させていただいたものがすべて随筆というわけではありませんが、これに比べ実践記録が一編しかなかったのは残念でした▼明年は随筆ももちろんですが、実践報告とか高校評判記へ大にお力を入れてくださるようお願いがいたします。」

こうした状況がすぐに改善されたか否か定かではないけれども、1958年1月に発行された第10巻第1号の「編集後記」は、同号が「充実した内容」になっており、同号に掲載したような論考を掲載できることを期待していることも記されていた。

「…▼本号は新年号にふさわしい充実した内容だと楽屋ほめしているしだいですが、いかがでしょうか▼巻頭の都立一商高原先生の『高校解体論』はひじょうに野心的な提案だと思います▼『戦後の数学教育について』を御執筆くださった都立戸山高校の武藤先生は『図書新聞』などへすぐれた書評をお書きになられる方▼橋渡先生の『農業教育と農業教科書』と黒木義男先生の『指導要録記入上の問題点について』も誌上に光彩をそえてくださいました▼このようなものを期待するしだいです」

上記のように読者に向けて発信し続けた編集後記であったけれども、1958年3月号に編集後記が記されたのを最後とし、以後、編集後記は記載されなくなった。同誌の誌面構成において時期を画する出来事と考えられることを付言しておく。

以上のように、「編集後記」をみる限り、『高校教育』誌は、「実教出版社のPR誌」でありながら積極的に投稿原稿を受け入れていた。第9巻第5号の編集後記にも「本誌は高校教官各位の全国的な連絡機関であると同時に意見交換の場でもあります」<sup>4</sup>と記されていたように、『高校教育』編集者は同誌に高校教員の教育的交流の機能をもたせようとしていたと考えられる。そして、その中心には、同社の教科書を使用した授業の実践記録が想定されていた。

しかし、当時、高校教員界には、教育実践を報告する経験は少なかったとみられ、雑誌編集者の期待に反し、教育実践記録の寄稿は皆無に近く、随筆と教育評論を主体とした誌面構成となった。

<sup>3</sup> 「編集後記」『高校教育』第9巻第12号、1957年、32ページ。

<sup>4</sup> 「編修後記」『高校教育』第9巻第5号、1957年、24ページ。

なお、第9巻第5号（1957年5月）には、隔月発行で「商業科教授資料を主な内容とする雑誌」（『商業教育資料』誌）が発行されることになったことが記されており、高校商業教育に特化した雑誌が再び刊行され始めていた。『高校教育』誌の存在意義ともかかわる出来事と思われるので留意しておきたい。

付記：解説は丸山が執筆し、尾高と協議の上、丸山が修正を施した。目次集作成は尾高が担当した。

## 資料.『高校教育』誌目次集(1966-1968年)

- ・本目次集を作成するにあたっては、編者(尾高)が所蔵機関に出向き現資料を確認した。
- ・所蔵機関名を巻号・発行年月右横のカッコ内に記した。
- ・執筆者名右横のカッコ内の数字はページ数を表す。号によっては、巻末から横書きの記事が掲載されているけれども、目次に表記されているとおりの順序で採録した。

第18巻第1号:1966年1月1日

(国立国会図書館)

地理Bにおける気候区分の取扱いについて

畑迫正行 (1)

設問による授業展開

松島英明 (6)

世界史の授業

北郷康 (10)

湯川博士のお話

能勢佐十郎 (12)

平易な中国史への招待

村上洋 (14)

初もうで雑感

高野鶴雄 (18)

グループ学習余話

鈴木英吉 (19)

質問

宮田三喜 (20)

教師と生徒と

小寺平吉 (22)

非行少年教化について

川村幸次郎 (24)

南ヨーロッパの旅

横田弘之 (27)

実教歌壇

宮柊二選 (5)

実教俳壇

石田波郷選 (23)

炭うめて是有

佐藤満洋 (14)

校歌雑感

福田邦雄 (15)

白亜の殿堂を一つでも

志田俊 (17)

後進に道をゆずる

横田英男 (18)

教科書談義

水谷三郎 (12)

実教歌壇

宮柊二選 (11)

実教俳壇

石田波郷選 (20)

家庭科特集

家政学の目標と高校家庭科教育

花岡利昌 (21)

家庭一般に期待する

金原ちゑ子 (26)

被服製作の諸流儀と高校教育との関連

片山芳子 (29)

育児教育の反省

松村龍雄 (33)

調理の効率化

梶原房子 (37)

第18巻第4号:1966年4月1日

(国立国会図書館)

国語科特集

国語政策の方向

宇野精一 (1)

橘と桜

石田穠二 (4)

道元の非情

杉崎俊夫 (8)

「道中膝栗毛」について

神保五弥 (12)

「堤中納言物語」〈はいずみ〉について

松本寧至 (16)

夏目漱石の「こころ」について

長野誉一 (20)

大学入試の今昔

小出光 (26)

小説の教材さがしからえた高校文学教育の問題点

山田昭全 (30)

暮坂峠方面強歩大会

小林文瑞 (37)

水野仙子の絵はがき

大中一郎 (19)

教科書談義

水谷三郎 (34)

実教歌壇

宮柊二選 (15)

実教俳壇

石田波郷選 (36)

第18巻第5号:1966年5月1日

(国立国会図書館)

教育のイデアルディプスについて

沢田利夫 (1)

地名テストのことなど

鈴木旅太郎 (6)

少年たちの旅

石橋力 (15)

花と生徒と教師

広岡甚市 (10)

先生大いに叱る

柴田慶治 (11)

すばらしい贈物

椎原松子 (12)

教科書談義

水谷三郎 (8)

実教歌壇

宮柊二選 (5)

第18巻第3号:1966年3月1日

(国立国会図書館)

文学的補導論

円原泉 (1)

設問による授業展開

松島英明 (6)

教え子の死をいたむ

八村伸一 (19)

とかく教師というものは

成瀬幸雄 (14)

実教俳壇	石田波郷選 (14)	第 18 巻第 8 号：1966 年 8 月 1 日	
数学科特集		(国立国会図書館)	
「新数学 I」編修意図	船山良三 (1)	定時制高校の問題——特にその差別視ということにつ	
大学からみた高校の数学	折原正江 (3)	いて——	萱沼素 (1)
数列の指導雑感	田中不二夫 (7)	大学教育の焦点	村井蕃 (5)
わが家のガス代	中森豊太 (12)	墨堤江戸史蹟めぐり	小林高寿 (9)
「数学 II B」の改訂について	斎藤利弥 (16)	寅彦の手紙	森俊彦 (26)
ある 3 つの話題	原隆 (19)	教材における極大と極小	斉藤実郎 (14)
		漱石と筆子	大石忠良 (22)
第 18 巻第 6 号：1966 年 6 月 1 日		ある論争	西山民雄 (23)
	(国立国会図書館)	ネクタイ	秋山明 (24)
墨堤江戸史蹟めぐり (1)	小林高寿 (1)	王安石の新法	加畑一夫 (25)
教科書談義	水谷三郎 (6)	日本史における生徒の興味	井口仁 (17)
実教歌壇	宮柊二選 (5)	欧米雑感	榊原康男 (30)
実教俳壇	石田波郷選 (8)	教科書談義	水谷三郎 (18)
理科特集		実教歌壇	宮柊二選 (20)
「生物」教育・「生物」教科書のあり方		実教俳壇	石田波郷選 (21)
「生物」教育の変遷と過去の「生物」教科書			
	桑原万寿太郎 (1)	第 18 巻第 9 号：1966 年 9 月 1 日	
理科教育 特に「生物」教育雑感	加藤陸奥郎 (5)	(国立国会図書館)	
高校理科教育 特に「生物」教育についての私見	藤茂宏 (9)	学習指導あれこれ 1	斎藤敏雄 (1)
惑星の地学	宮本正太郎 (12)	高校生の仏教観	富水慶一 (22)
伏在炭田	湊正雄 (16)	商業高校の教育からみたことばづかい批判	伊東典郎 (5)
今後の高校化学教育	白井俊明 (19)	理科における学習活動への教師指導限界測定の試み	飯塚博久 (9)
化学学習における微視的概念と巨視的概念		ロンドン大学 B.Sc. (Eng.) 試験の数学問題	
	野村祐次郎 (22)		前川太市 (11)
物理教科書を編修して	神山雅英 (26)	二上山遠望	飯尾和夫 (14)
物理における単位の取扱いについて	岩岡順三 (29)	先生大いに叱られる	岡田理人 (16)
第 18 巻第 7 号：1966 年 7 月 1 日		技術教育と人	笹木敏 (16)
	(国立国会図書館)	親ばか十景	成瀬幸雄 (18)
社会科特集		野鳥と歴史ドラマ	中村貞吉 (18)
難波宮跡と大化改新	直木孝次郎 (1)	わが家の長髪談義	鳥井健太郎 (19)
地図を書く訓練	河本哲三 (5)	教え子からの便り	山口利助 (20)
野外調査とその指導	山鹿誠次 (10)	あるスピーチ	山田修 (20)
地理における世界の農業学習とその視点		「20 年後の日本」を読んで	横田弘之 (29)
	寺沢正己 (14)	実教歌壇	宮柊二選 (12)
学説と教科書		実教俳壇	石田波郷選 (13)
〈マニファクチュアという概念をめぐって〉		第 18 巻第 10 号：1966 年 10 月 1 日	
	井上孝治・武本竹生 (22)	(国立国会図書館)	
社会学者 S 氏との通信	佐久間淳 (28)	学習指導あれこれ 2	斎藤敏雄 (1)
教科書談義	水谷三郎 (32)	倫社指導の問題点と立場	藤原泰郎 (4)
実教歌壇	宮柊二選 (34)	高専制度を拡充せよ	糟谷奨 (16)
実教俳壇	石田波郷選 (35)	戦場記	戸村玄吉 (8)
職場	芳賀馨 (36)	不思議に思うこと	井口祐夫 (10)
西郷隆盛の書翰	渡辺正 (39)	金文の「揚」について	窪田薫 (12)
		夏の数学補習授業	甲賀五郎 (20)
		地藏盆	横田英男 (21)

生徒にやっつけられて	奥山隆夫 (22)	定時制高校の問題	小林国重 (3)
やさしい女高生	一之瀬尚 (24)	近代詩鑑賞の規準 (2)	阿久沢博幸 (6)
編入などに思うこと	鳴海春平 (24)	自らの職場に物言を	向平允至 (10)
墨堤江戸史蹟めぐり	小林高寿 (27)	新前定時制教師の辞	秋野臥牛 (18)
教科書談義	水谷三郎 (14)	万年佳作から救われて	宗像康夫 (19)
実教歌壇	宮柊二選 (7)	一卒業生の訪問	M・M生 (20)
実教俳壇	石田波郷選 (26)	帽子の話	三井田吉次 (21)

## 第18巻第11号：1966年11月1日

(国立国会図書館)

入試問題の解答の偶然得点に関する考察	秋庭久嘉 (1)	見送られる者のエチケット	小嶋勲 (23)
竹とササに関する論考	金子敏之 (10)	寅彦の手紙	森俊彦 (24)
定時制教師の四季	橋本誠一 (15)	墨堤江戸史蹟めぐり	小林高寿 (28)
交通戦争	須藤万治 (14)	教科書談義	水谷三郎 (16)
高等学校における望ましい生物カリキュラム		実教歌壇	宮柊二選 (5)
		実教俳壇	石田波郷選 (13)
		懸賞論文当選発表	(14)

星 一彰 (19)

ある反省	福田邦雄 (20)
教育改革を思う	酒井俊雄 (20)
欲求の限界	平井仙一 (21)
おやこ通学	小林文瑞 (22)
数学教師と俳句	二唐空々 (23)
まねたいもの	菊島晴夫 (23)
見せることへの疑問	桑水流三四郎 (24)
墨堤江戸史蹟めぐり	小林高寿 (27)
実教歌壇	宮柊二選 (9)
実教俳壇	石田波郷選 (26)

## 第18巻第12号：1966年12月1日

(国立国会図書館)

近代詩鑑賞の規準 (1)	阿久沢博幸 (1)
韓国に旅して思う	山田修 (10)
補習について	其井澄 (6)
ニュートン力学から量子力学へ	塩見堯 (9)
4月4日から2か月	芳賀馨 (14)
ある卒業生の手紙から	沢田利夫 (20)
しじみ貝	岩坪巖 (21)
黒板拭きとガラス拭き	水沢稔 (22)
小説の中の教師像	大塚正文 (23)
馬の調教と人のしつけ	篠原靖 (24)
寅彦の手紙 (2)	森俊彦 (16)
墨堤江戸史蹟めぐり (5)	小林高寿 (26)
続少年たちの旅	石橋力 (30)
実教歌壇	宮柊二選 (5)
実教俳壇	石田波郷選 (13)

## 第19巻第1号：1967年1月1日

(国立国会図書館)

学校図書館における地域資料収集の問題点	杉森暢男 (1)
---------------------	----------

## 第19巻第2号：1967年2月1日

(国立国会図書館)

近代詩鑑賞の規準 (3)	阿久沢博幸 (1)
謡曲教材「羽衣」(1)	石井健次 (29)
定時制気質	滑川西之助 (6)
教師は教えられる	ST生 (10)
校風・伝統に思う	杉山松雄 (10)
教師の生きがい	細見則夫 (11)
古きよき時代	草野明 (12)
教師よ き然たれ	山口利助 (13)
風邪	福田くにお (12)
教科書談義	水谷三郎 (8)
実教歌壇	宮柊二選 (5)
実教俳壇	石田波郷選 (14)

## 創業25周年記念懸賞論文1等

国語教科書と学習指導	伴一幸 (15)
望ましい倫社教科書	中尾正三 (20)
「生物」を生かす教科書を	野間寿雄 (25)

## 第19巻第3号：1967年3月1日

(国立国会図書館)

「最後の一葉」指導体験記	山田昭全 (1)
迷惑の受身・放任の使役について	宮地裕 (6)
枕浮くばかり	石田穰二 (9)
欧米旅行雑感	宇野精一 (13)
上代の「だに」について	今西浩子 (16)
わが道楽	長野嘗一 (18)
教科書談義	水谷三郎 (22)
実教歌壇	宮柊二選 (21)
実教俳壇	石田波郷選 (24)

創業 25 周年記念懸賞論文 2 等		第 19 卷第 6 号：1967 年 6 月 1 日	
教科書の実践的考察	小西定雄 (25)	(国立国会図書館)	
実教「高校倫理・社会」について	奥山隆夫 (31)	社会科の取り扱い方	務台理作 (1)
生物の授業をとおしてみた教科書内容の分析・紹介	高井高盛 (40)	現代社会とファシズムの恐怖	松島静雄 (3)
		数をにらんで	内田寛一 (6)
		世界の学園都市	河本哲三 (18)
第 19 卷第 4 号：1967 年 4 月 1 日		「聞いてわかる学問ことば」とは	南博 (10)
(国立国会図書館)		過保護と過当競争	小林直樹 (11)
高校家庭科指導要領のレベルと「新編家庭一般」編修理念		「さしたることはなけれども…」	護雅夫 (13)
花岡利昌 (1)		学恩をうけた人々	時野谷勝 (14)
「新編家庭一般」の食生活の経営をかえりみて		模倣と着想	伊藤清司 (16)
山本喜男 (5)		東洋史学の先駆者と千葉中学	久保龍 (29)
家庭科教育における住居学の意義	扇田信 (8)	最近のアメリカの高等学校 (1)	仙崎武 (33)
「新編家庭一般」の刊行に思う	吉川清兵衛 (13)	入試得点と簿記検定との関連	中村照男 (38)
謡曲教材「羽衣」	石井健次 (21)	教育機関の多様性	大垣敏雄 (32)
無説の説	玉井一章 (16)	「先生」ということば	檜森成晃 (26)
教科書談義	水谷三郎 (18)	授業参観者	糟谷奨 (27)
実教歌壇	宮柊二選 (17)	実教歌壇	宮柊二選 (25)
実教俳壇	石田波郷選 (20)	実教俳壇	石田波郷選 (28)
創業 25 周年記念懸賞論文 3 等		第 19 卷第 7 号：1967 年 7 月 1 日	
国語科教科書への発想	伊東典郎 (25)	(国立国会図書館)	
実践的価値からみた教科書「倫理・社会」斉藤徹 (30)		微分方程式を解くということ	福原満洲男 (1)
物理教科書をこのように利用している 小林栄 (35)		数列の極限について	井上正雄 (3)
第 19 卷第 5 号：1967 年 5 月 1 日		数式と日本語	木村俊房 (8)
(国立国会図書館)		新数学Ⅱ A の編修を終わって	船山良三 (11)
東南アジアの化学教育	中西啓二 (1)	不等式の解法について	秋谷照之助 (15)
水・空気随想	白井俊明 (4)	数学と私	田中不二雄 (17)
PSSC の改訂について	小島昌夫 (6)	北海道のアイヌ問題	富水慶一 (1)
海洋三話	星野通平 (9)	きく随想	布尾準一郎 (4)
「生物改訂版」編修の趣旨	井上清恒 (12)	最近のアメリカの高等学校	仙崎武 (15)
オーバーヘッドプロジェクターを使った生物授業の経験		国語力の一断面	安倍清明 (12)
小滝一夫 (14)		「カッカ」	阿部祖海 (13)
「新生物」を用いた授業に関する一私見 梅埜国夫 (18)		読文選漫記	村山芳郎 (14)
		教科書談義	水谷三郎 (8)
創業 25 周年記念懸賞論文 3 等		実教歌壇	宮柊二選 (10)
教科書・このように利用している 森鵬文 (5)		実教俳壇	石田波郷選 (11)
実教「世界史 B 改訂版」をこのように利用している		第 19 卷第 8 号：1967 年 8 月 1 日	
斉藤実郎 (10)		(国立国会図書館)	
生物の授業をとおしてみた教科書内容の検討		日本古代の犬についての一考察	中山薫 (1)
葛山博次 (22)		最近のアメリカの高等学校 (3)	仙崎武 (20)
高校進路指導と学校評価基準	横田弘之 (1)	工業教育の現状に思う	山田修 (29)
実教歌壇	宮柊二選 (3)	思い出すまに	山崎一雄 (26)
実教俳壇	石田波郷選 (4)	墨堤江戸史蹟めぐり	小林高寿 (6)
付録 昭和 43 年度用教科書総目録		「公私の別」への疑問	大島孝一 (14)
		交通安全を叫ぶ定時制	古市将晃 (15)
		クイズ番組予選敗退記	山口新也 (15)
		亜子先生の授業	若林芳樹 (17)

- |                            |             |                     |              |
|----------------------------|-------------|---------------------|--------------|
| 教科書談義                      | 水谷三郎 (18)   | スポーツ振興のかげに          | 其井澄 (18)     |
| 実教歌壇                       | 宮柊二選 (13)   | ギゴチない戦後の日本語         | アリマヨシハル (19) |
| 実教俳壇                       | 石田波郷選 (25)  | 忘れ得ぬ教え子たち           | 小島勲 (20)     |
|                            |             | 個性と協調性              | 松本守 (21)     |
| 第19巻第9号：1967年9月1日          |             | 草を引く                | 横田英男 (22)    |
|                            | (国立国会図書館)   | 教科書談義               | 水谷三郎 (8)     |
| 世界史教育の前進のために               | 斉藤実郎 (1)    | 実教歌壇                | 宮柊二選 (13)    |
| 情報理論は学習の困難点解決のためにどのように役立つか |             | 実教俳壇                | 石田波郷選 (17)   |
|                            | 山本 績 (32)   |                     |              |
| LHR への小さな提言                | 吉羽一夫 (15)   | 第19巻第12号：1967年12月1日 |              |
| だれがだれのための選職か               | 三谷照夫 (8)    |                     | (国立国会図書館)    |
| アイヌの社会生活                   | 小寺平吉 (10)   | 本校の定時制における教授法原理について | 今井春男 (1)     |
| 定時制高校ノート (1)               | 大塚正文 (12)   | 「柿食へば…」の句について       | 大野秋虹 (29)    |
| 中学時代の先生                    | 大中一郎 (18)   | 農業教育雑感              | 芝田隆雄 (8)     |
| 猟犬                         | 中尾英一 (18)   | 生徒の手に「読書ノート」を       | 八村伸一 (12)    |
| 昼間定時制の一教師のねがい              | 福島章好 (20)   | ことば三題               | 河野亮 (14)     |
| 退学させる前に善導せよ                | 鳴海春平 (21)   | 定時制高校ノート (2)        | 大塚正文 (17)    |
| 墨堤江戸史蹟めぐり                  | 小林高寿 (22)   | クラブにおける人間関係         | 奥山隆夫 (20)    |
| 実教歌壇                       | 宮柊二選 (7)    | 卒業生からの手紙            | 森本勝 (24)     |
| 実教俳壇                       | 石田波郷選 (14)  | 笑い話                 | 菊島晴夫 (25)    |
|                            |             | ことばの順序              | 横山好夫 (26)    |
| 第19巻第10号：1967年10月1日        |             | 生徒のきらいなことば          | 細見則夫 (26)    |
|                            | (国立国会図書館)   | ドライバーとしての一反省        | 篠原昭 (27)     |
| ホームルームの運営                  | 児玉輝之 (1)    | 数学の教科書に望む           | 山下昌治 (28)    |
| 漱石の一俳句について                 | 二唐空々 (6)    | 教科書談義               | 水谷三郎 (10)    |
| 夜間工業高校教師生活あれやこれや           | 関口充 (24)    | 実教歌壇                | 宮柊二選 (7)     |
| 暗記                         | 相原健助 (12)   | 実教俳壇                | 石田波郷選 (23)   |
| 前方後円墳の形について                | 窪田薫 (14)    |                     |              |
| ウーティス現象                    | 志田信男 (16)   | 第20巻第1号：1968年1月1日   |              |
| 交通事故をさけるには                 | 松下松平 (18)   |                     | (国立国会図書館)    |
| 縁談                         | 山浦篤 (20)    | 大政奉還と商業の介在          | 桑水流三四郎 (1)   |
| ある手紙から                     | 山中清一 (21)   | 気象ことわざを見直そう         | 森俊彦 (8)      |
| じんぶん                       | 矢田貞吉 (21)   | 高校理科の設置をめぐる諸問題      | 横田弘之 (14)    |
| おはらい下さい                    | いぐちひとし (22) | 都々一坊扇歌について          | そのべきみかず (30) |
| カウンセラーを増強せよ                | 唐木健作 (23)   | ふたたび LHR への小さな提言    | 吉羽一夫 (5)     |
| 大阪などの人返し令                  | 時野谷勝 (10)   | 根性論                 | 島田匡妥 (24)    |
| 墨堤江戸史蹟めぐり                  | 小林高寿 (28)   | 時間割係の弁              | 高田隆二 (25)    |
| 実教歌壇                       | 宮柊二選 (9)    | 「偉い」ということ           | 山口利助 (26)    |
| 実教俳壇                       | 石田波郷選 (27)  | 初午の思い出              | 森田公司 (27)    |
|                            |             | 三人の娘に思う             | 西山民雄 (28)    |
| 第19巻第11号：1967年10月1日        |             | 親と子                 | 椎原松子 (29)    |
|                            | (国立国会図書館)   | 古典・古文の質問に答える        | 宮地裕 (20)     |
| 職業指導のゆくえ                   | 糟谷奨 (1)     | 教科書談義               | 水谷三郎 (12)    |
| 天文学への興味                    | 塩見堯 (24)    | 実教歌壇                | 宮柊二選 (18)    |
| 重点的教授法について                 | 松本文義 (29)   | 実教俳壇                | 石田波郷選 (19)   |
| 東日本進路指導講座雑感                | 横田弘之 (6)    |                     |              |
| 上代人の祭と歌                    | 北爪寿美雄 (10)  | 第20巻第2号：1968年2月1日   |              |
| 竜門寺址・竜門の滝                  | 飯尾和夫 (14)   |                     | (国立国会図書館)    |
| 仏像                         | 川向正峰 (18)   | 定時制教育における生徒のしつけ     | 長谷川祐次 (1)    |



みみずの生態論	金子敏之 (28)	第 20 巻第 5 号：1968 年 5 月 1 日	
ベルリンの一日	前川太市 (6)		(国立国会図書館)
定時制高校ノート	大塚正文 (4)	現職研修についての一提案	木島与左衛門 (1)
「子忍びの森」の歌について	渋谷計二 (18)	定時制生徒の人間としての経済社会における存在	
東と西で	柴田慶治 (20)	とあり方 (2)	古市将亮 (6)
官庁と学校の窓口	志田俊 (22)	古今二つの竹島問題 (2)	小林高寿 (22)
20 才を迎えた夜間高校	古川昭 (23)	日本の近世洋風画と秋田蘭画について	大石正雄 (28)
コトバ多きは……	戸枝徹男 (24)	孤立した生徒に対する生活指導	富田迪夫 (12)
エントロピー	向後寛 (25)	ジョージ＝ワシントン橋のこと	青柳忠克 (16)
小さな親切	武田正三 (25)	三姉妹	鳴海春平 (18)
卒業生のみなさんへ	及川量進 (27)	偶感三題	渡辺正 (19)
古典・古文の質問に答える	宮地裕 (14)	逃げた青蛙	中村阿岐雄 (20)
教科書談義	水谷三郎 (12)	教科書談義	水谷三郎 (10)
実教歌壇	宮柊二選 (11)	実教歌壇	宮柊二選 (15)
実教俳壇	石田波郷選 (17)	実教俳壇	石田波郷選 (27)
		付録 昭和 44 年度用教科書総目録	

第 20 巻第 3 号：1968 年 3 月 1 日

	(国立国会図書館)
効果的作文評価のあり方	獅子原正 (1)
実社会の求める語学力	秋山松次 (18)
生徒会指導のこつ	小田博夫 (8)
定時制高校ノート	大塚正文 (12)
実物鑑定指導	相原健助 (22)
海峡と教育	江利山幸栄 (26)
おとなの学力	松下松平 (26)
生徒理解を	中野忠 (27)
〈コント〉黒色のオーバー	Y.Y. 生 (25)
古今二つの竹島問題	小林高寿 (28)
教科書談義	水谷三郎 (16)
実教歌壇	宮柊二選 (11)
実教俳壇	石田波郷選 (15)

第 20 巻第 4 号：1968 年 4 月 1 日

	(国立国会図書館)
『世界史 B』における〈主題〉学習の功罪 谷萩操 (1)	
定時制生徒の人間としての経済社会における存在	
とあり方 (1)	古市将亮 (5)
実社会の求める語学力 (2)	秋山松次 (8)
北陸の奥の細道の旅	豊島蘭交 (28)
各種学校の現状と問題点	小金井義 (14)
定時制高校ノート	大塚正文 (18)
評伝水野仙子について	大中一郎 (22)
本の話	伊東典郎 (24)
年賀状	鳥井健太郎 (25)
美しき誤解	大石忠良 (26)
国語教材としての外国文学	松本守 (12)
実教歌壇	宮柊二選 (13)
実教俳壇	石田波郷選 (21)

第 20 巻第 6 号：1968 年 6 月 1 日

	(国立国会図書館)
「世界史教育」への疑問	大西一爾 (1)
ソビエトの数学の先生	松田宏 (6)
廻国行者巡歴の一史料	中山薫 (23)
唐詩を和歌に訳す	若林芳樹 (10)
群師類型論	滑川西之助 (12)
古今二つの竹島問題 (3)	小林高寿 (29)
ちょうちん談義	小林国重 (16)
外来語を授業に	八村伸一 (17)
せんせい	宮田三喜 (18)
成功した指導	山浦篤 (20)
四か年皆精勤	上野卓誠 (21)
教科書談義	水谷三郎 (14)
実教歌壇	宮柊二選 (9)
実教俳壇	石田波郷選 (22)
付録 昭和 44 年度用教科書総目録	

第 20 巻第 7 号：1968 年 7 月 1 日

	(国立国会図書館)
公務災害	古川昭 (1)
班活動の具体的方法	小柳津五男 (6)
どこを出たかではなく何が <sup>が</sup> できるかの時代へ	横田弘之 (12)
告白的定時制教育論	中野敬治 (14)
名札談義	油井猛治 (24)
拍手された授業	奥山隆夫 (25)
俳諧名目口決之伝	梅津茂 (26)
漁村	笹川志津江 (27)
文学碑	山口利助 (28)
原爆被爆者の告白	渋谷計二 (18)
日本国憲法のもとでの政治機構の運用状況 (1)	
	山崎芳夫 (29)

教科書談義	水谷三郎 (16)	旅のお方	大石忠良 (14)
実教歌壇	宮柊二選 (22)	汽車で	藏重文雄 (16)
実教俳壇	石田波郷選 (23)	雨滴と目薬	辻蝸牛 (16)
		あじさい	広岡甚市 (17)
第20巻第8号: 1968年8月1日		授業風景	片山紘 (19)
	(国立国会図書館)	日本国憲法のもとでの政治機構の運用状況 (4)	
生徒との対話・面接	児玉輝之 (1)		山崎芳夫 (25)
八俣の大蛇退治伝説の現代的意義	北爪寿美雄 (5)	常陸国分寺跡に遊ぶ	そのべきみかず (30)
アイヌの結婚と葬式	小寺平吉 (8)	実教歌壇	宮柊二選 (13)
親密談義	成瀬幸雄 (16)	実教俳壇	星野麦丘人選 (20)
十年坊主	山本彬 (16)		
身元保証人	山田修 (18)	第20巻第11号: 1968年11月1日	
高校生とオートバイ事故	絹野弘 (19)		(国立国会図書館)
しつけ	井口祐夫 (20)	「全国調査『倫理・社会』の学習指導要領改訂に	
廃校のこと	大中一郎 (21)	望むもの」について	小川一郎 (1)
教師	桑水流三四郎 (21)	修学旅行を検討する資料メモ	木島与左衛門 (12)
国語教材としての外国文学	今井正 (14)	論争とことばのあいまいさについて	西川賢造 (18)
俳諧と風土	杉山広三 (22)	高卒と大卒のちがひ	大西一爾 (22)
日本国憲法のもとでの政治機構の運用状況 (2)		漢語と和語の一断面	斉藤義七郎 (23)
	山崎芳夫 (25)	ゆれる日本語とエチケット	栗田収 (23)
万太郎俳句テニヲハ考	大野秋虹 (29)	実践研究をすすめる	相原健助 (25)
教科書談義	水谷三郎 (12)	風情ゆたかな東京の川	横田弘之 (26)
実教歌壇	宮柊二選 (15)	クラブと勉強	斉藤実 (27)
		全定の差別廃止を	大塚正文 (28)
第20巻第9号: 1968年9月1日		常陸国分寺跡に遊ぶ (2)	そのべきみかず (29)
	(国立国会図書館)	教科書談義	水谷三郎 (10)
高校生の国語力調査	川村幸次郎 (1)	実教歌壇	宮柊二選 (9)
教師は考える	石井庄吉 (10)	実教俳壇	星野麦丘人選 (21)
低い文章表記への関心	園部公一 (8)		
英語教室こぼれ話	八村伸一 (26)	第20巻第12号: 1968年12月1日	
思い出の旅と俳句	森田公司 (20)		(国立国会図書館)
教師と川柳	福田邦雄 (21)	生徒の職業観についての考察 (1)	浅見輝馬 (1)
だれかがやるだろう	阿部祖海 (22)	農業後継者教育 農業季節制高校教育	
生徒にしてやられた	柴田慶治 (23)	「実践ノート」より (1)	樋口正巳 (6)
宿題	岩坪巖 (25)	から衣きつつなれにし	渡辺正 (10)
教科書で用いられる外国語		台湾寸評記	山田修 (12)
SDRの誕生	上野格 (29)	LHRで何が育つか	吉羽一夫 (18)
日本国憲法のもとでの政治機構の運用状況 (3)		自然の風物をみせても	桜井薫 (22)
	山崎芳夫 (16)	校長もしっかりやる	向平允至 (23)
実教歌壇	宮柊二選 (19)	教科書で用いられる外国語	鶴淵誉子 (24)
教科書談義	水谷三郎 (14)	碁仇は哀し	山口新也 (24)
		子供二題	横田英男 (26)
第20巻第10号: 1968年10月1日		寅彦の手紙 (4)	森俊彦 (28)
	(国立国会図書館)	教科書談義	水谷三郎 (14)
私塾と予備校と	糟谷奨 (1)	実教歌壇	宮柊二選 (16)
ある女子高校の校外学習調べ	若林芳樹 (5)	実教俳壇	星野麦丘人選 (17)
秋の七草随考	布尾準一郎 (21)		
秋から冬への感想	其井澄 (8)		
船と運命感	中村阿岐雄 (10)		

(おだか すすむ 本学准教授)

(まるやま つよし 本学非常勤講師)